

鉄道技術推進センターの活動

【概要】

鉄道技術推進センターは、鉄軌道事業者、鉄道関連企業などの皆様に会員になっていただき、会員各社が協調連携し、組織、技術分野の垣根を超えて共通する技術課題を解決するための場として、平成8年7月、鉄道総合技術研究所内に設立されました。

現在、全国の鉄軌道事業者、鉄道関連企業などの皆様とコミュニケーションをとり、「技術力の維持・向上」、「技術の体系化と課題解決」及び「技術情報サービス」の3本の柱を立てて、活動を行っています。

【活動方針】

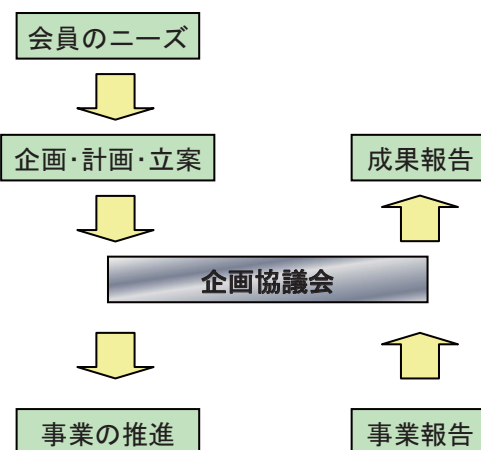
- ・ 技術の継承、技術風化防止に向けた活動の積極的な推進
- ・ 性能規定化に即した技術基準関連ツールなどの整備
- ・ 会員の皆様に共通する鉄道技術に関する調査研究の実施
- ・ 会員の皆様の要望に対応した技術情報の発信
- ・ 推進センター活動の周知や意見交換の積極的な実施

【特徴】

- ・ 推進センター事業は会員のニーズに基づき、計画・立案され推進されます。
- ・ 推進センターの運営等を協議するため、学識経験者等からなる企画協議会を設置しています。
- ・ 推進センターの各事業は原則として会員の会費で運営されています。

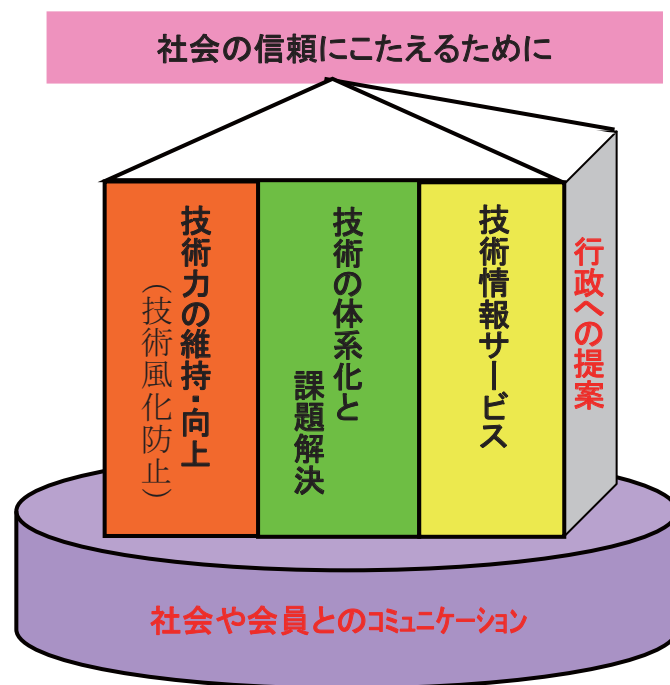
会員数（平成19年4月現在）

第1種会員 (鉄軌道事業者)	177
第2種会員 (鉄道関連企業)	171
第3種会員 (学校等)	6
計	354



企画協議会の位置付け

【推進センターの役割】



【技術基準事業について】

技術基準の原案作成

鉄道施設等の設計・維持管理を円滑に実施できるよう、推進センターは事業の一環として技術基準の原案を作成しています。

● 設計標準の例

- ・コンクリート構造物設計標準
 - ・鋼・合成構造物設計標準
 - ・土構造物設計標準
 - ・基礎・抗土圧構造物設計標準
 - ・耐震設計標準
 - ・開削トンネル設計標準
- 他

● 維持管理標準

- ・鉄道構造物維持管理標準(構造物編)
- ・鉄道構造物維持管理標準(軌道編)



技術基準・同解説